

■ 県央管内



<AA 土地改良区が管理する円形分水工>



<O 土地改良区が管理する取水施設>

■ 県南管内



<AO 土地改良区が管理する幹線分水工>

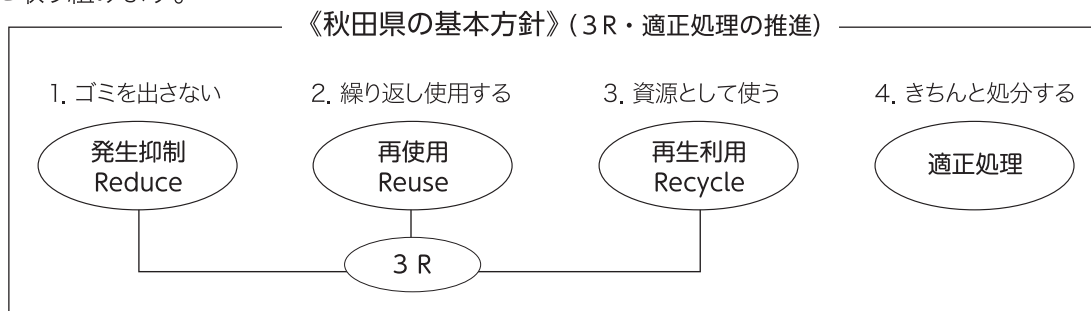


<Y 土地改良区が管理する大排水門>

行政、民間もふくめたネットワークの形成と、安全・安心への意識の共有及び、
下流域への配慮意識・水質保全等の推進について

▼ 循環型社会に向けた秋田県の取り組み (秋田県HP-美の国あきたネットより)

2006年6月「循環型社会形成推進基本法」が制定され、限りある資源やエネルギーを有効活用し、地球環境に悪影響を及ぼさない社会の実現に向けて、国の制度や企業の取り組みが変わり始めており、秋田県においても、「県民・事業者・行政」の三者がパートナーシップを発揮して、循環型社会づくりに積極的に取り組みます。



▼ 水土里ネット稲川の取り組み (水土里ネット稲川 HP より)

水土里ネット稲川では、平成16年より稲川地区の小中学生を対象に「ゴミ捨て防止標語コンクール」に取り組み、毎年多数の応募が寄せられております。

平成21年度は、小学生(305点)中学生(195点)と過去最高の500点の応募が有り、審査の結果、下記の作品が「最優秀賞」「優秀賞」に選ばれ、平成21年10月23日の理事会で表彰されました。

〈小学生部門〉

- 最優秀賞:捨てるほど 汚れる地球と 自分の心
- 優 秀 賞:ごみのない 水土里きれいな 町づくり
- 同上 :ゴミ捨てて スッキリするのは あなただけ
- 同上 :ごみを捨てる あなたの心も ゴミ箱に・・・
- 同上 :捨てちゃダメ きれいな町は 夢じゃない
- 同上 :捨てないで 命をつくる この水に

《此まで応募した小学生の優秀作品看板》



〈中学生部門〉

- 最優秀賞:届けよう みんなの水土里を 未来まで
- 優 秀 賞:待ちどおしい きれいな町と 言える日が
- 同上 :捨てないで すべての水路に 命あり

※標語を呼んで大変感動しました!! 大人も、小中学生のような「心」で有りたいものです。

▼ 水土里ネット秋田が、「雄物川環境フォーラム」と「雄物川一斉クリーンアップ」に参加

平成22年6月5日(土)6日(日)の2日間、NPO法人秋田パドラーズ主催による「雄物川環境フォーラム」と「雄物川一斉クリーンアップ」が開催されました。

5日(土)は、秋田市文化会館でアルピニスト野口健さんの基調講演が行われ、約350人の来場があり、水土里ネット秋田からも18人参加しました。

野口さんは1995年、25歳で7大陸最高峰の登頂を世界最年少ではたすなど、アルピニストとして活躍しており、世界の山を登頂する過程で日本語で書かれた多くのゴミを目のあたりにし衝撃を受け、清掃活動を始めるきっかけとなったそうです。現在は、ヒマラヤや富士山などで清掃活動を広く展開しており、これまでの活動秘話、啓発の重要性など、ユーモアを交えて語られ、聴衆の感動を得たフォーラムでした。

又、富士山清掃活動は、11年前に始め約100人の参加者が、昨年は、全国から、約6,800人の参加者が増え、継続の大切さと、「環境問題は自然が相手ではなく、人間社会が相手だ」とも表現され、山を綺麗にするだけでなく、人々の意識を変えることの重要性を訴えました。

《環境あきた県民フォーラムの状況》



▲講師の野口健さんと共催団体写真 (水土里ネット秋田のスポンサー看板)

6日(日)に開催された「雄物川一斉クリーンアップ」にも多くの参加者が集まり、午前9時30分に雄物川河川敷の茨島発着場(本部)での開会式の後、バス9台で雄物川河口付近に移動し、清掃活動を行いました。

水土里ネット秋田も、31名が参加し、揃いのユニホームが参加者の注目を得、今年度から取り組んでいる「ゴミゼロ」実践活動をPRすることが出来ました。今後も、このような活動に積極的に参加し、取り組みの基本理念である「安全・安心」な農産物生産環境の創出に、欠かすことのできない水土里が管理する農業水利施設のゴミ処理問題に取り組んいきます。

《雄物川一斉クリーンアップの状況》



▲水土里ネット秋田の参加者集合写真

▼ 今後の「ゴミゼロ」実践活動の予定

- 調査結果の中間取りまとめ(7月下旬～8月上旬)
- 現地・団体など補足調査 (8月中旬～8月下旬)
- 調査結果の最終取りまとめ(9月上旬～中旬)
- 土地改良区など関係者による検討会開催(9月下旬)
- ゴミの実態調査PR資料等の作成(各種講習会に活用)



<U土地改良区の啓発看板>

今後ご協力よろしくお願ひします。

(問合せ先) 総務企画部広報・渉外班 農業関連施設「ゴミ」問題担当 TEL.018-888-2712

富根地区 (切石工区)

74haのほ場整備事業竣工

ニツ井町土地改良区が受益団体となっている能代市ニツ井町の「富根地区(切石工区)県営経営体育成基盤整備事業」がこの度完了し、6月10日、関係者約40名が出席し現地で完工を祝った。

同事業の全体面積は435haで、うち切石工区は74haで受益戸数は138戸。平成10年度から21年度までの12年間に総事業費13億8千万円を投じ、10a区画から1ha区画を中心とした水田地帯に生まれ変わった。

切石工区は、平成12年度から15年度まで面工事、15年度から18年度まで暗渠工事が行われ、18年度に換地業務を終え、21年度に完了となった。

この日は、竣工記念碑の除幕式も行われ、同土地改良区の石山理事長は「事業の完成により今後担い手が農地を効率的に利用し、農業基盤を築き上げていくことを願っている」と語っていた。



東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会

第50回通常総会

■中長期的な農業農村整備事業予算の確保対策に取り組む

5月13日、仙北市田沢湖で東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会（高貝久遠会長）の第50回通常総会が開かれ、中長期的な視点に立った農業農村整備事業予算の確保に向けた国への要請活動など、本年度の事業計画などを決めた。

総会には20名が出席。平成21年度事業報告及び収支決算の承認、平成22年度



事業計画（案）及び収支予算（案）などが協議された。平成22年度の事業計画については、引き続き中長期的な視点に立った農業農村整備事業予算の確保を強く要望して行くとともに、食料生産と国土保全の根幹を担う農業農村整備事業の推進のため、①事業推進活動、②事業に関する協力及び情報交換、③東北・北海道の農業農村整備事業に関する調査研究、④要請活動などを実施することを承認した。



また、平成22年度事業計画の一環として、5月25日～26日には本会会議室を会場に「技術士二次試験合格対策研修会」を開催したほか、7月28日～29日は「平成23年度農業農村整備事業予算の確保」に関する要請活動を、東北農政局及び農林水産省、財務省、民主党幹事長、各県道選出国會議員に対し実施する予定である。

連 合 会 日 誌

5月12日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
6月10日	東北農業農村整備推進協議会第10回通常総会	宮城県松島町
7月4日	疏水ネットワーク平成22年度第1回通常総会	兵庫県
7月4日	疏水フォーラムinひょうご2010（～5日）	兵庫県
7月8日	平成22年度21世紀土地改良区創造運動大賞東北地方選考委員会	仙台市
7月23日	小友第三地区クリーンセンター通水祝賀会	由利本荘市
7月24日	平成22年度水土里の郷わくわく探訪（土地改良施設巡り）	三種町・大潟村
..... 今後の行事予定		
7月27日	全国農業集落排水事業推進協議会第21回通常総会	東京都
7月27日	「食料基地あきた農業農村整備基本計画《NN基本計画》」にかかる意見交換会	北秋田市「北秋田地域振興局」
7月28日	秋田県立金足農業高等学校就業体験実習（インターンシップ）（～30日）	本会
7月28日	東北・北海道土地連絡協議会要請活動（～29日）	東北農政局・農林水産省
8月4日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会第1回事務主任者会議（～5日）	秋田市
8月5日	用排水施設整備事業促進東北協議会平成22年度定期総会並びに研修会（～6日）	秋田市
8月10日	平成22年度あきた食料・環境・ふるさとを考える地球人会議運営委員会	本会「第1会議室」
8月19日	正副会長会議	本会「役員室」
8月20日	大館市土地改良区合併予備契約調印祝賀会	大館市
8月31日	平成22年度北海道・東北ブロック土地改良換地関係訴訟検討会	山形市
9月15日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会第2回事務責任者会議（～17日）	北海道
10月26日	第33回全国土地改良大会（長崎大会）（～29日）	長崎県
10月30日	第133回秋田県種苗交換会（～11/5）	北秋田市
11月2日	秋田県土地改良事業推進大会	北秋田市「合川体育館」